



とよおか

議会だより

創刊号

平成10年11月10日

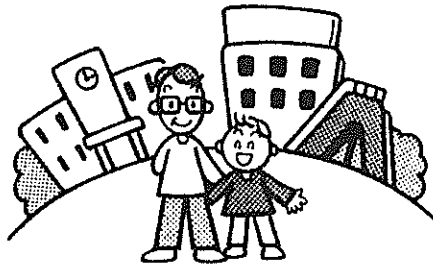
発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷㈱



未来を担う子供達 <北小運動会から>

9月定例会

創刊号によせて	・議会の構成	2~3
9年度決算認定	・補正予算の状況	4~5
村民の期待を担って	・7議員が一般質問	6~10
委員会だより		10~11
広域連合について	・最近の活動から	12



佳みよい村 づくりに向け 新議場で 張切っ ています

=何でも気軽に声 をかけてください=



— 議会事務局新設 —

私達が担当しています
お気軽にお立ち寄りを

議会事務局長 松下 亨
同 主 事 井坪美由紀



新設ポストで張り切る二人

建 設 経 済					社 会						
委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長	委 員
前澤光昭	北澤貢	吉川玲	筒井卓徳	菅沼富士夫	本多唯夫	唐澤妥	田島悦男	福澤幸雄	筒井芳夫	福澤寿雄	奥山義臣
	議会だより編集委員		議会運営委員長、 監査委員					議会運営委員	議会だより編集委員	予算特別副委員長	

総 務			社 会	総 務	所 属 委 員 会
委 員	副 委 員 長	委 員 長	副 議 長	議 長	職 名
久保田博人	壬生清司	鹿角鉄男	宮下登	池野富保	氏 名
	議会運営副委員長	決算特別委員長、 議会運営副委員長	議会だより編集委員長、 議会運営委員	議会だより編集委員	議会内の役職

こんな組織で運営しています



永年の念願であった、議会だよりが発刊され、大変に喜ばしい事と思います。

九月定例会が十八日開催され、九年度の決算審査を中心に行われました。主に庁舎建築基金、財政調整基金を取り崩し歳入では前年比一九・三%の増となり、歳出では大型事業などで普通建設事業費は前年比三八・八%と、大幅増となりました。今日地域

社会は激動する不況経済と社会情勢の中で、日々進展し変革をしております。私達議会では、これらに適確に対処しなければなりません。さらに議会活動の内容を出来る限り、くわしく、お知らせ致します。村民皆様の一層の御理解とご協力をお願いいたします。

議長 池野富保

議会だより発刊にあたり

進む一貫道路工事

＝約2億円で田村・河野工区を＝

● 17 議案をすべて可決 ●

9月定例会

補正予算

一般・特別会計合わせて三億九千万円ほど追加されました。主なものは、一貫道路の中央保育所から漆沢川までの開設と河野寺沢橋北から筏の県道までの測量設計などに一億九千万円。災害復旧工事では、土木が十四ヶ所、耕地が八ヶ所合計で二十二ヶ所を約一億円をかけ工事します。

農業振興では、堆肥散布機、SS、コンバイン購入の補助金として一千三百万円ほどが計上されています。

教育費では、中学校に心の悩みや不登校に対して専門に相談にのる相談員を配置します。この費用として三百七十万円が計上されています。

社会福祉では、要望の強かった身障者用のリフト付自動車一



平成9年度決算を認定

新庁舎建設など 総額 73億円余

村づくりの拠点 完成の年 ＝ 決算特別委員会で審査 ＝

武田長年代表監査委員の報告では、すべての会計とも議会意志を尊重し適正に処理されていた。役場庁舎・中央保育所等の大型事業を行ったが、多くが積立金によるもので、今後の財政運営に心配はない。

村の人口が、年間で八十七人増加したことは、いち早く着手した下水道事業等の成果であり評価できる。新庁舎・保育所等が完成し村民の期待が大きいので、職員は一層努力してほしいと要望される。

一般会計

景気低迷下ではあるが、初の五〇億円超の決算となる。

懸案の役場庁舎をはじめ中央保育所・保健センターの建設を行ったため、普通建設事業費は、三八％と大巾増となる。

注目されている田村地区の一貫道路は、基本測量について地権者のご理解を得、一部工事も進められ、平成十二年度末の全

国民健康保険 老人保健医療特別会計

国民健康保険の加入者は、若年層が増加したが、医療費は入院費用が伸び、対前年では四％増となる。

老人医療受給者は年々増加の一途（前年比六・五％増）だが、一人当りの医療費は五十四万六千円で、四・一％減となる。これは制度改正で受給者負担が増加したものと思われる。日頃から健康に留意し医療費を抑えたい。

簡易水道・下水道 事業特別会計

簡易水道では、下水道の普及に伴い山田配水池等の増設やメーター類等の整備を行う。水道料金収入は、水洗化に伴い六・八

％五八六万円の増となる。

下水道では、山田・林原木門地区が供用開始となり、普及率は一〇〇％になる。都会並の環境が整ったが、使用規定を守り快適な生活を送りたい。

契約

旧中央保育所跡地に建設の「屋内ゲートボール場工事」は、八千九百九十九万円で丸三建設㈱に「竜東一貫道路のりんご大橋改修工事」は、八千九百九十九万円で神稲建設㈱との請負契約が原案通り議決される。

の「私学助成推進」は、当村からの該当者数などから不採択とされる。

同意された。臨時教育委員会で教育長に選任された。

請願・陳情

区長会から出されていた「除雪対策」の陳情は、全員一致で採択される。

非核の政府を求める長野県民の会から出されていた「核兵器廃絶と平和の施策促進」では、陳情項目が、村や学校の教育行政まで立ち入った内容であるなどから不採択になる。

中信地区私学助成協議会から

人事

任期満了で退任された林憲良教育長の後任として、前建設課長の池田達雄さんが任命され、議会で



今年度に完成予定の一貫道路中央保育所～漆沢川

一般



田畑を潤し、丘を守る小水路

村長 前沢議員は、まるで私がもう福祉バスを始めると決めたのごとく言われたが、そういう事は一言も聞いてない。検討委員会については十月に第一回を行う。議会社会委員と関係区長が委員で、これから検討委員会で検討する。

質問 介護保険で決められたサービに回数など上乗せしてやる場合、市町村独自のサービスを

やる場合、基本的には、六十五歳以上の被保険者の負担となるが、同時に一般財源からの支出も認められている。それが可能か。

村長 高齢化の進んだ農村部では、保険料だけの運営は不可能といわれている。現状では村の負担がどのくらいかかるか未知数、これらを見極めないと、上乗せなどの独自サービスにつ

ては申しあげられない。今後、実施に向けて検討する中で対応したい。



“ほほえみ号”内の明るいお年寄り衆

質問 各地域に網のようにつくられている小水路は、用水路であると同時に雨水の排水路でもあります。ところが水田減反は上段から中段地帯が優先され易く段丘にある水路の維持管理への関心や熱意が薄れる傾向にあります。水路維持の経費負担は受益者負担を原則とする、村の方針を原則的には支持しますが、思わぬ災害により少数になってきている直接的受益者の負担が過大になり、修復が困難になる場合があります。

現在①材料支給による復旧②大災害の時の復興③道路改良と同時に併設改良等、支援の方法はあるが、受益者の変動、地域の排水対策としての必要性により見なおしが必要になってきていると思いま

質問 小水路は丘を守ります

答 法的な制約もあり今後の検討課題

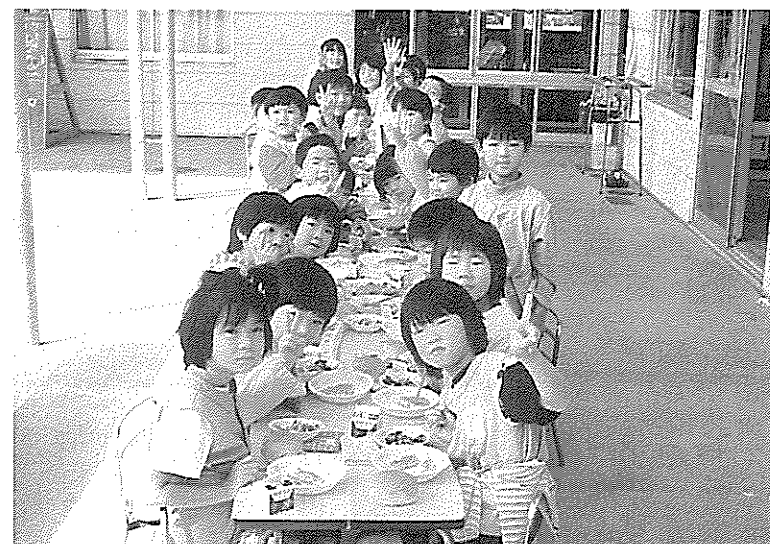
奥山 義臣

①小用水路の排水路としての評価とそれを取り巻く現状認識
②公的支援の道を開くことを検討してほしい。

村長 ①用水路は関係者の経済行為として受益者によって、維持管理されるべきである②小水路は多数ありこのすべてについて管理の支援は困難③重要な箇所については河川の排水路として維持管理の支援をしている④災害を受けた場合の復旧制度もあるが、法的な制約があるので時間かけ十分検討したい。

要望 中段地帯は道路開発や住宅が増え、山林に手が入らず雷雨等の時に、小災害や二次災害を起し易いので、制度の柔軟な運用と見なおしを希望する。

質問



明日の豊丘を背負いたくましく育つ園児達

質問 環境ホルモンの対策と対応は

答 給食用食器、近年中には安全な物に

北澤 貢

質問 小中、保育所で使われているポリカーボネート製の食器から環境ホルモンが溶けだしているという悪い影響を与える可能性が指摘されている。文部省などでは健康への影響がはっきりしないとして特別な指導はしていないが、村としてはどう考えているのか。疑わしきは使わないとして廃止、試験的導入をする所もあるが、村としてはどう対応していくのか。

村長 四年前からポリカーボネート製の食器を使っている。今使っている食器は四年前使用している。五年経過した段階で考え、来年度いっぱい研究して五年経過後に改めていきたい。

教育長 対応として熱に弱いという事で基準は九十度以上で洗浄しているが、八十五度に設定している。今後国や県の指導

を踏まえる中で洗浄機なども含めて慎重に研究していく。

質問 村民が安全で安心して生活できる村作りについては、私達が生活する中で安全は最も基本的な条件である。現実には交通事故を始め多くの犯罪等が起っている。豊丘村でも度重なる交通事故で、青少年の犯罪も心配されるが防止については、松川町では生活安全条例を制定したが、村としても住民と一体となって取り組む必要があると思う。

村長 村としては若干の犯罪はあるが、まあまあ安心して生活できる状況下にあると自負している。安全条例についてはただ今のところ制定する考えはない。

質問 福祉バスの運行で足の確保を

答 検討委員会を設置し研究する

前沢 光昭

質問 福祉バスについては、高齢者など交通弱者の足の確保という事で住民からも「豊丘村でも福祉バスを」という要望が

ある。前からある。村長も六月議会などで前向きな方向で発言されている。あいつの中でも豊かな長寿

社会、高齢化社会に向け対応していく考えを示された。その考えのうえに質問。

①六月議会補正予算でも確保された検討委員会のその後はどのよう

一般質問

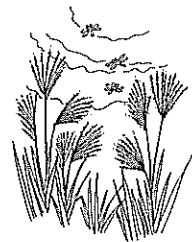
質 村民グラウンドへ駐車場を
答 近辺に適地なし・今後の課題

吉川 玲

質問 村民運動広場（村民グラウンド）も排水工事、夜間照明、トイレの改修と施設の充実を図り、立派なグラウンドとなりまして、駐車場が少なく不便ですので、利用のしやすい駐車場の整備が必要ではないかと思いますが、村長の考えは。

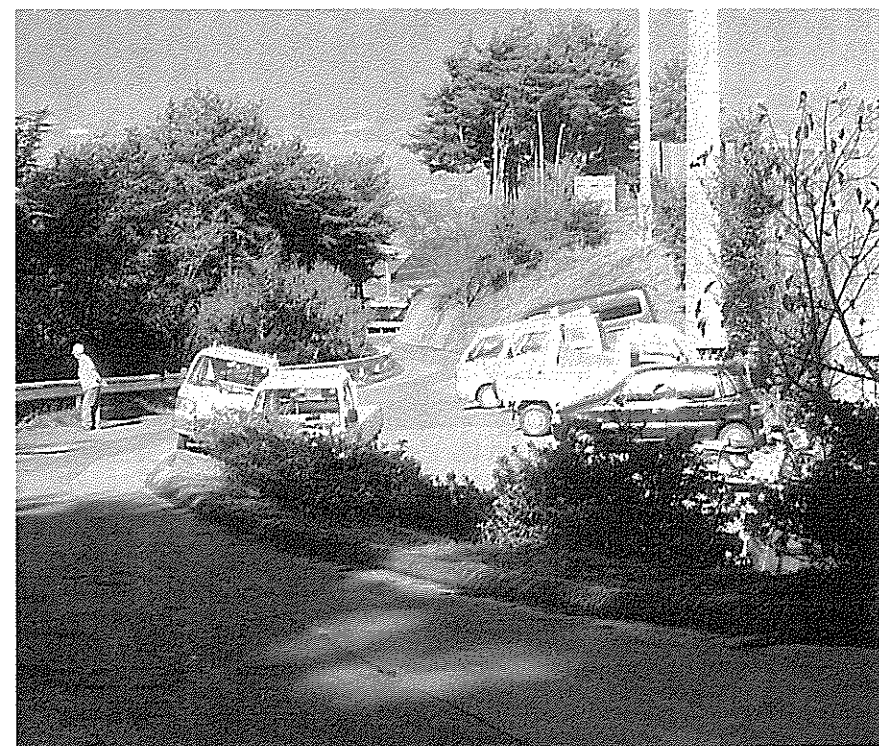
村長 村民グラウンドの駐車場については非常に少ないと云う意見があり、構造的に検討をさせた経過があります。

グラウンドの東側に法面を削り、石垣を積んで設置をした場合、置ける台数が二十四台で、経費



が二千数百万円かかると云う事で、一台を置く所に百何十万円もかけて造らなくてはならない問題であるうか。

今後使用する皆さんが其々に考えていただき、今後の課題として残しておいていただきたい。



狭く利用しにくい村民グラウンドの駐車場

質 旧役場の跡地利用計画は
答 議会の結論により考えたい

鹿角 鉄男

質問 旧役場の跡地利用につきまして、まず二十一世紀にむかっの飯伊地方拠点都市地域の基本計画における、重点的な整備事業を展開し役場を中心としてにぎわいのある新しい村造りを望むものであります。

村長 拠点都市地域の整備計画は役場を中心として田村地区を考えている。役場跡地の利用については議会の総務委員会にお

願いし結論を待って考えたい。尚温水プールの建設については今後も検討をして行きたい。

なんでも相談室について

質問 平成三年の村長選挙の公約と記憶しているが、七年余経過して、相談件数等問題点を聞かせて下さい。

村長 現在は、あまり相談件数



関心が高まる旧役場庁舎の跡地利用

も少ないので、今後は住民課での対応かなと理解している。

在宅福祉について

質問 豊丘村も高齢化・少子化減少が進み、特に高齢化率は二六％を越え年々進んでいる。社協の活動方針の中にも、在宅福祉サービスの取組が示されております。

私は「在宅で寝たきり者」の介護慰労金をせめて一万円を増額され、県費と併せて年額十二万円の支給をお願いする次第です。

村長 この問題につきましては五年ほど前から毎年一万円ずつ増額をして、県と合わせて十二万円になる迄進めて行く。来年も増額をする。

質問 私 は 向けて取り組むのか、もう一点は架橋の位置は決まっていらないが、竜東一環道路は橋の位置へ向かうのか、県道へ向かうのか、又位置について高森町との協議の進捗についてお聞きしたい。

橋については河野の工業団地計画への大きな活路と竜東全体の発展につながる道となるので運動の推進には躊躇することなく進めてほしい。

村長 架橋の位置が非常に難しいので両町村がお互いに理解しあって決めて行きたい。現状は町村道の為半分の補助金が精一杯であるので、これが大きな課題である。出来るだけ早い時期に架橋の出来るように今後の運動の展開を進めて行きたい。

コースについては、県でもこちらの意向は承知していて橋の位置が決まればその位置に向け

質 竜東一貫道路先の架橋は
答 位置は両町村の合意が必要

久保田 博 人

質問 私 は 向けて取り組むのか、もう一点は架橋の位置は決まっていらないが、竜東一環道路は橋の位置へ向かうのか、県道へ向かうのか、又位置について高森町との協議の進捗についてお聞きしたい。

橋については河野の工業団地計画への大きな活路と竜東全体の発展につながる道となるので運動の推進には躊躇することなく進めてほしい。

村長 架橋の位置が非常に難しいので両町村がお互いに理解しあって決めて行きたい。現状は町村道の為半分の補助金が精一杯であるので、これが大きな課題である。出来るだけ早い時期に架橋の出来るように今後の運動の展開を進めて行きたい。

コースについては、県でもこちらの意向は承知していて橋の位置が決まればその位置に向け



近い将来の架橋が期待される河野～山吹間の天竜川

一般質問

質 村長三選出馬について 答 意志表明は十二月議会に

菅 沼 富士夫

質問 今、国では地方分権、介護保険、環境問題、廃棄物処理等重要な難問題が地方行政に求められております。

来年四月発足を目指す「広域連合」への期待は大であり、村長への行政手腕、議員の能力、資質が問われるところであり、す。豊丘村に於ても、竜東一貫道、広域農道、郷土沢ダム、虹川ダム、介護支援センター、工業団地、山吹への架橋等継続される多くの重要課題が山積しております。

停滞を許されない村政を熟知する村長として、取り残された事業、新規事業等の完成と見通しをきちんとつけ次期執行者にバトンタッチすべき責任と義務があると思う。

地方行政に求められる重要課題を解決して行く理事者には堅実な財政力、高度な政治判断、積極的な行動など噛み合わせた行政手腕が求められる訳であり、ます。したがって、来期松村村政最後の総仕上げを目指して三選出馬の決意があるか明快な態度表明を求める。

村長 地方分権を始めとして地



去就が注目される松村村長

総務

公債費比率、ピーク時で13.7%位

健全財政は維持

総務

平成九年度の一般会計決算について、総務分科会に付託された事項について審査をしました。

範囲は総務課、議会事務局、教育委員会関係全般にわたる。

まず事業について予算は計画通り効率よく運用されているかを審査しました。「公債費比率」とは、借入金の返済にあてる割

…決算審査から…

合で、役場庁舎・保育所・保健センター、一貫道路などの事業が行なわれたが、今後の財政について平成十三・十四年が返済のピークになるが、一三・七%位の見通しであり、健全財政であり心配ない。

消防団員の確保について、村全体としては確保出来ておるが分団によっては苦勞して居る所があるようです。

林原運動公園の利用について、ゲートボール場、テニスコートの利用が非常に少ないが原因について、利用料金を取る事が少ない原因と思われる。又テニス人口が少ないなど要素はあるが多くの人に利用されるよう検討が必要。今度建設される屋内ゲートボール場についても、有料使用となるようですが、事前に説明をし有効利用出来るよう努力される事をお願いしておきました。

集合税の口座振替について、検討を重ねながら準備を進めております。希望者には来年四月より実施出来るよう努力しております。希望者には来年四月より実施出来るよう努力しております。全般的に予算執行状況も適正に行なわれており、総務分科会として承認を致しました。

(総務委員長 林 茂男)

委員会だより



医療の拠点として期待を担う厚生連病院 (完成予想図)

社会 厚生連病院化に一億五千万円を 屋内ゲートボール場が着工

九月定例議会に村長より厚生連の病院化による補助金について社会委員会で研究される様依頼がありました。委員会を九月二十二日委員会終了後社会委員六名と村長議長同席の上話し合をした。

村長より補助金については自分の負担をしたいと話があり、再度厚生連より参事と事務長が来村され、高森町では三億三千五百万円補助すると話が出され、厚生連より豊丘で高森町の

経済 建設

定年後就農者へも支援を

一貫道路 (田村)、着実に進む

…決算審査から…

農業振興 村単独の農業振興を推進してあります。更に実施率八八%で有り、和牛の里づくり、農産物の販路拡大、パイプハウス等の設置事業等、村がもつと指導性をもちJA、農委、技連等連絡を密にし農業振興の推進を指摘しておきました。更に定年後就農者への支援事業を今後研究し、助成を考えるよう進言しておきました。

林業 松くい虫防除事業平成五年より実施中。今後も駆除の徹底を図られるよう要望しておきました。

商工関係 産業廃棄物処理センター、十年六月で埋立完了、埋立後五年間(豊丘)豊丘廃棄物処理センターが管理する契約になって居ります。

観光 野田平キャンプ場は村外利用者約七〇%雨が多かった為利用者前よりやや少なめで有りた。

三色藤 豊丘の観光目玉会員の老齢化等に依る今後の継続厳しい状況下、継続できる様支援と指導を。

建設関係 九年度内申請工事工期内すべて完成。冬場の難工事



豊丘村の動脈になりつつある一貫道路 (河野地籍)

前年度より審議されてきた「中央保育所跡地利用」について陳情等により建設が決定した屋内ゲートボール場の入札は、九月十六日に行われた。

指名業者五社の内、丸三建設が八千九百万円で落札した。ゲートボール人口減少が問われる中、多目的に利用される施設となるよう強い要望がされた。

(社会委員長 福澤寿雄)

会 議 三 二 辞 典

の 広 域 連 合 と 議 会 の 取 組 み

『広域連合』とは

きめ細かな事務は、従来通り市町村が行なうが、各市町村が単独で行なうことが難かしく、広域でやった方が有利な事務は構成市町村が連携して行なう制度である。

住民の日常生活圏の拡大に伴ない、行政需要は広域化、高度化している。中でもダイオキシン等の削減に対応できるごみ処理場の建設や、平成十二年度にスタートする介護保険への対応などは、市町村が連携しなければできない課題である。
また、広域連合は市町村合併を念頭にした制度ではなく、個々の市町村は個性を生かしつつ、広域行政を進める有効な手段といえる。

『豊丘村議会の取組み』

先ず、三月四日に飯伊広域行政組合議会議員を対象にした学習会があり、三月二十日には北部ブロック議会議員全員で県地方課職員の説明を受け、質疑や意見交換を行なう。

当議会では、三月定例会後や四月の全員協議会で研究討議の結果、一部に慎重論がでたものの、大多数の賛成で広域連合発足の方針を決めた。

なお、飯伊全市町村でも十月上旬までに足並が揃い、平成十一年四月発足に向け大きく動き出した。

議会議長 池野富保

財政措置については、地域総合整備事業債の充当率が八五％(七五％)に、市町村振興資金の充当率が八〇％(七〇％)に引上げられる。その他立ち上げ経費として一律七百万円が措置されるなど財政支援も充実され



地域の課題を県知事などに陳情 — 最近の活動から —



地域課題を知事に陳情する北部地区の正副議長

編 集 後 記

今年の天候は春から異状気象が始まり、農家は心配していたが、収穫期の秋二度の台風の襲撃で、大切に育てて来た果実は無残な姿で落下し、水稲は倒され発芽までするありさま。秋野菜も腐敗するなど踏んだり蹴ったり。中でも明るい話題は村特産の松茸が沢山採れたことか。

新庁舎完成に伴い四月より議会事務局が設置された。かねてより専任事務局が出来たら議会独自の広報を発刊したいと願って来たが、此の度その夢が叶い創刊号が発行出来るに至った。

技術的には素人集団の編集委員会、見様真似で編集しましたので未熟な紙面ですが、豊丘村の議会活動の報告として多少なりとも村民の皆様へ、今迄以上にご理解いただければ幸いです。

開かれた村政を目ざしグレードアップ豊丘村として十八名の議員一丸となって頑張りますので今後共よろしく申し上げます。

- 討したい」旨の回答。その後、県議会の正副議長と六常任委員会へ所管別に口頭陳情を行ないました。そして、過日の北部議員総会の席上、吉田県議から結果報告があり、「介護保険に係る財政措置について」他八項目が採択され、残りは継続審査となりました。
- 表紙の写真は、伴野の鹿角勝二氏から提供していただきました。
- 編集委員長 宮下 登
副委員長 鹿角 鉄男
委員 筒井 芳夫
同 北澤 貢
同 池野 富保

例年、北部五ヶ町村議会でやっている知事、県議会陳情を今年十月二日に行ないました。これは、各町村が抱えている課題を持ちより研究討議の上、まとめたもので、今年「子供未来センターの誘致」や「ダイオキシンの削減対策」など十五項目になりました。

当日は、各町村の正・副議長などが出席し、まず、吉村知事に陳情。知事は「厳しい財政状況であるが趣旨を踏まえよく検